

## 親鸞聖人と岐阜別院

犬上南組の寺族婦人会の研修旅行で、住職と坊守が本願寺岐阜別院に参拝しました。

親鸞聖人が関東から京都に戻られる途中、三河(愛知県)に留まって布教をされていた時、岐阜から9人が馳せ参じ、聖人の教化を受けて浄土真宗に帰依し、岐阜県に草庵を建てて聖人を迎えられました。その頃から続く門徒衆は河野(かわの)門徒と呼ばれています。

その後も、この地域では浄土真宗のみ教えが熱心に受け継がれてきました。川の氾濫や関ヶ原の合戦などで、現在の岐阜市内に移築され、第二次世



界大戦の岐阜空襲では、ほとんどの建物が焼失してしまっただろうです。現在の本堂は戦後に建てられたものです。内陣はとても美しく、またバリアフリーになっていて、誰もが気持ちよくお参りできるようになっていました。

◆ 午後は、金華山にそびえる岐阜城を見学しました。ロープウェイの終点から、暑い中、険しい山道を登って天守閣から素晴らしい景色を見ることができました。現在の覚浄寺は、岐阜の揖斐川の近く(大垣市)から移築された建物なので、歴史とご縁を感じる研修旅行でした。(住職)

7月(文旬)  
一日(土) 一時半  
慕酌り・花立て

(役員・年行司さん)  
秋季永代経・虫供養  
お講

二六〇(日)

二八〇(金)

二九〇(日)

寺族婦人 聞法会  
教区公聴会(別院)  
第4ブロック研修

### 秋季永代経・虫供養のお知らせ

7月2日(日) 午後1時半

お勤め 仏説阿弥陀経  
ご法話 藤 真照 師(浄覚寺)

暑い時期ですが、みなさんお参りください。

### 永代経・虫供養について

永代経は、先人を偲び仏縁にふれる法要です。また、この地域で養蚕が行われていたことから、安正寺さんと交互に、農業組合さんと虫供養をお勤めします。コロナが再び増えていることを踏まえ、ご法話は一席一座となります。みなさまごつぞお参りください。

七夕(たなばた)と仏教

笹の葉に短冊をつけて飾るお祭り。そして、織姫と彦星が一年に一度だけ出会うことができる日。この伝説は、中国から奈良時代に伝わって、その後、日本全国に広まったと言われています。

◆ 織姫は、こと座のベガという一等星。彦星は、わし座のアルタイル。天の川を挟んで夏の夜空に明るく輝いています。実際に二つの星は、とんでもなく遠くに離れていて、一年に一度会いに行くことは不可能だと思いますが、昔の人のとてもロマンチックなお話ですね。

◆ ところで、七夕は、7月7日だと思いがちですが、もともとは旧暦で8月に行われていたそうです。有名な仙台の七夕まつりは8月に行われていますね。そして、お盆の前に先祖のお墓やお仏壇をきれいにする日だったとも言われています。昔の人は、星を見上げ、亡き人を思い出して手を合わせていたのかもしれないね。

7月の掃除当番は、安居博文さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ



## 見えぬけれどもあるんだよ

毎朝、出勤前にお寺の風景をスマホでパチリ。季節によって朝の景色はいぶん変わります。雨の日も雪の日もありますし、夏は明るく冬はまだ暗いです。でも晴れた日の朝は、どんな季節でも気持ちがいいものです。



なぜ気持ちいいかと言うと、空気が澄んで空が青いから。昼間は、私たちが忙しく活動して埃を舞上げ、車が走って排気ガスを出し、工場から煙を吐き出しているの、空気が濁ってしま

います。ですから私たちは埃の中で暮



らしているようなものです。でも、埃は見えませんが、それが毎日のことなので埃の中にいることに気づきません。埃が落下し、空気が澄んだ朝になって、はじめて、「ああ、空気が澄んで清々しいな」と気づくのです。



家の中を歩いていて、足の前をぶつめることはありませんか？ 私は、しよつちゅう、椅子の足やドアの角に足の小指をぶつけて「痛っ」と声をあげてしまうことがあります。自分の足元すら見えていないのです。

人間の視野はせいぜい120度ほど、後ろにあるものは全く見えませんし、人間が認識できる光はあらゆる波長のごく一部に過ぎず、ほとんどの色を見ることはできません。その上、心が埃にまみれているので、汚れが邪魔をして正しく見ることはできません。そんな私に、澄んだ朝陽の光のような仏さまの眼差しは、ストレートに届いています。ただ、それに気づけない私なのです。

(住職)

## 住職の星空案内

夜空の星は均一に散らばっているのではなく、星が集まっているところと、少ないところがあります。地球がある銀河は、円盤型をしているため、銀河の中心(いて座の方向)や銀河のウデの方向は天の川と呼ばれ、たくさん星が輝いています。

そんな星々は、少しずつ動いています。ひとつひとつの星は、お互いに引力で引っ張り合っているの、だんだんと一か所に集まってくるのだそうです。こうしてお互いが身を寄せ合うかのように丸い形にまとまってきたので、これらは中高年の星とも呼ばれます。私も中高年の星となって輝きたいものです。



## くイズクイズ QUIZ

仏説阿彌陀經には、お浄土に大輪の花が光に照らされて、それぞれの色に輝いている様子が説かれています。左の四角の中に入る色を、阿彌陀經に描かれている順番に書き入れてください。

色  光

色  光

色  光

色  光

先月号の答え

さて、仏教で雨季の季節に修行僧がお堂にこもって勉強する「安居」。これ、書いて何と読むでしょうか？ 「ヤスイ」じゃないよ。

答え あんご

